JCY海外視察2018
イングランド

スケジュールと参加者

日時	曜日	出発地	AM	PM	NT
2月26日	月	羽田		PM　移動	澁谷氏と打合せ、英国のサッカー事情を聞く
2月27日	火	ロンドン	Dulwich Hamlet FC　ダイレクター	観光（サッカーショップ、ウェストミンスター観光）	AFC Wimbledon vs Blackburn Rovers@Kingsmeadow(The Cherry Red Records Stadium)
2月28日	水	ロンドン	Woking FC　チェアマン	The　FA	
3月1日	木	ロンドン	QPR到着@Imperial College Sports Ground QPR　U23練習見学	日本スポーツ振興センターロンドンオフィス	ホテル内のパブにてアーセナルvsマンC観戦
3月2日	金	ロンドン	宮原さんと話@宮原さんオフィス Barnet FC@The Hive）	Barnet FC　ダイレクター	
3月3日	土	ロンドン	フリー	Tottenham Hotspur ｖｓ Huddersfield Town@Wembley	Freemasons Arms
3月4日	日	ロンドン	帰国		

参加者	加藤　寛 加藤　孝俊	谷塚　哲 浅沼 達也	八木　大 亀田 志功 石川慎之助
コーディネータ	公益財団法人日本サッカー協会　国際委員　澁谷英秋		

イングランドのスポーツと歴史（到着後、澁谷氏より情報提供）

- 地方クラブはサッカー、クリケット、ローンボール、陸上、ラグビー
- イギリスは産業革命から蒸気機関（鉄道と汽船がほとんど）
- ブラジル最初のクラブ6チーム全てイギリスの企業から始まっている
- スペインのアスレティック〇〇もイギリスが作ったものから始まっている

【イングランドリーグ組織】

- 1部：プレミアリーグ（20チーム）
- 2部：フットボールリーグ・チャンピオンシップ（24チーム）
- 3部：フットボールリーグ・1（24チーム）
- 4部：フットボールリーグ・2（24チーム）
- 5部：カンファレンス・ナショナル（24チーム）
- 6部：カンファレンス・サウス/カンファレンス・ノース（2リーグ×22チーム）
- 7部：イスミアンリーグプレミア/サウザンリーグプレミア/ノーザンリーグプレミア（3リーグ×24チーム）
- 8部：イスミアンリーグ1部北・南/ノーザンリーグ1部北・南/サウザンリーグ1部東・西（6リーグ×24チーム）
- 9部：17リーグ

- 4部までがプロリーグ、5部以下がセミプロリーグ。5部までが全国リーグ。

Dulwich Hamlet Football Club

- 【基礎情報】
  - イスミアンリーグプレミア（7部）
  - リーグ上位　チャンピオンヒルスタジアム（平均観客動員1,580）　トップ、U21、U18、U15
  - ロンドン南部　1893年創設　リーグ最多の観客動員。スタジアム横に大型スーパーマーケット、人工芝ピッチをレンタルし収入源。
  - 過去にイアン・ライト、ピーター・クラウチ（トッテナムからローン移籍）が在籍
  - 現在のウェストブロム・クリスタルパレスの監督はこのクラブ出身
  - 1893年設立、インタビュー対応はクリステイラー（37才）

【人や組織】

- Dulwich Hamlet Football Club Limited
- 米国本社の支社がオーナー
  - この会社はこのエリアに巨大な土地を持っていたが、一部はスーパーマーケットになった
- 組織
  - チェアマン1名（80才）
  - ボードメンバー12名（ボランティア）
  - 下部組織について（2002年7月設立）
    - 組織名：A.S.P.I.R.E (Academic and Sporting Inspired Routes to Excellence)
    - U18とU16の2チームを持つ
    - コーチがプライベートカンパニーで運営。パートナーシップを結んでいる。
- サポーターズトラスト　600人在籍
  - チケットもぎり等のボランティア
  - 物販も担当する、利益は折半
- チーム構成：5人プロ（過去にクリスタルパレスやオランダで活躍した選手）、その他はアマチュア
  - 22名が所属、入れ替わりは激しい
  - セミプロ選手180ポンド/ゲーム、600ポンド/週

【物】

- サッカー専用スタジアムChampion Hill Stadium、3000席
- ロンドン中心から40分程度のEast Dulwich駅から徒歩4分
- ショッピングセンターの真横にあるスタジアム
- スタジアムは賃料支払いにて所有
- 現在の敷地の奥にオーナーであるデベロッパーカンパニー所有の土地があり、そちらに新スタジアムの予定有り（700万ポンドで計画中）
- 人工芝グラウンドも保有し、貸出している
- パブ、ボクシングジム・フィットネスジム・スカッシュコートがある

【金】

- 収入
  - ジム･事務所貸し（2社）
  - スポンサーシップ　15%
  - パブ　30%（100万円/試合×35試合）
  - 飲食･レストラン有り
  - チケットは11ポンドぐらいで販売
  - ボクシングジム･フィットネスジム･スカッシュコート（15ポンド/時間）
- 2年前に移籍金を獲得できた：移籍金の15%がクラブに入り、育成とトップで折半した

【事業】

- 活動状況
  - トップチームのトレーニングは時期にもよるが、週2or3回、カップ戦があるかどうかで異なる
  - プロ選手の5人以外は仕事を持っているため、18:30～20:30に練習
  - 照明は非常に暗い（26年前に設置）
  - 夏は22時ごろまで明るいから良いが、15:30から暗くなる冬の練習は暗い
- 集客について
  - あらゆる手段を使って行っている
  - SNS、地域新聞・ラジオ
  - 警察、消防、病院、その他に協力してもらっている（交換条件として5ポンドで入れるように配慮）
- 市からの明確なサポートはなし（精神的なものはあり）

メインスタンドから見たピッチ。正面奥には小さいバックスタンドが見える。メインスタンド以外は立ち席となる。

メインスタンドはおよそ500席。屋根がついている。

歴史を感じさせるクラブハウス内部

飲食・イベント用ホール

- インタビュー会場として利用した部屋
- 飲食機能がありイベント会場としても活用されている

ボクシングジム

スカッシュコート

フィットネスジム

グラウンド角に設置されているプレハブ小屋
サポーターズトラストが運営し、ドリンクなどを販売している

AFC Wimbledon vs Blackburn Rovers（Football league one（3部））
@Kingsmeadow(The Cherry Red Records Stadium)

AFC Wimbledon

- 歴史
  - ウィンブルドン地区には1899年創設のウィンブルドンFCというプレミアリーグの在籍・FAカップ優勝経験も持つ歴史あるクラブが存在していた。
  - イングランドサッカー協会から安全性に問題のある立ち見席を廃したスタジアムを用意することを求められ、本拠地だったプラウ・レーンからセルハースト・パークに移り、1991年から2002年まで使用していた。しかし、をクリスタルパレスFCと共用であり、その解消をする為、2003年9月にミルトン・キーンズに本拠地を移転。ミルトン・キーンズ・ドンズFCに改称し、ウィンブルドンFCは消滅した。
  - 一方、ウィンブルドン地区からの移転意向を発表したクラブに強く反対して激怒したサポーターにより、2002年にAFCウィンブルドンが設立され、地域リーグのコンバインド・カウンティーズ・フットボールリーグ（9部相当）からスタートした。現在、フットボールリーグ1(3部相当）。

Blackburn Rovers

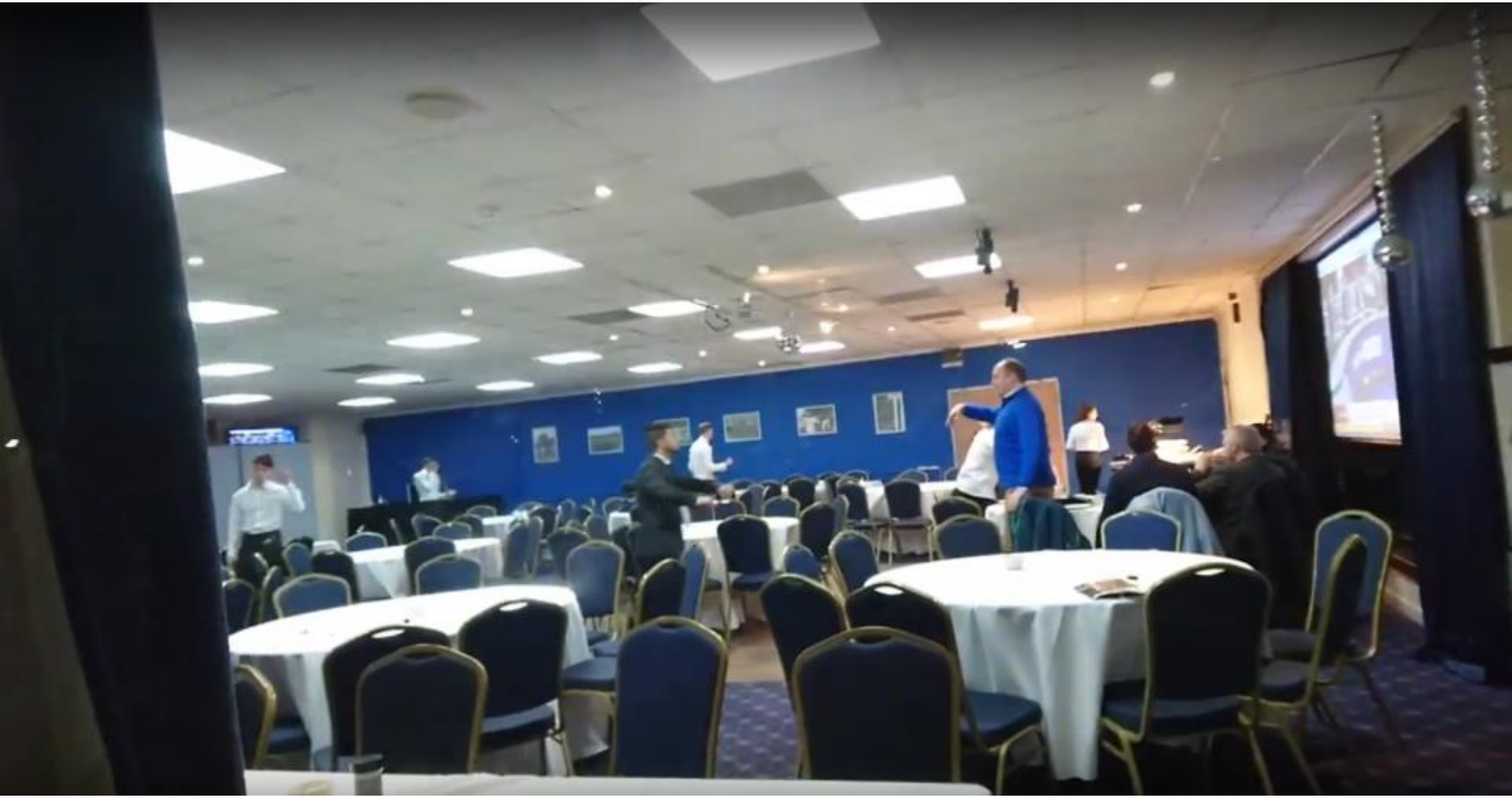
- 歴史
  - イングランド・ブラックバーンに本拠地を置くプロサッカークラブ。
  - 1888年に始まった世界最古のサッカーリーグ、フットボールリーグに最初から参加した12クラブのうちの一つ。
  - 1875年に地区の私立中学出身者が中心となり設立。古くはスコットランドより多く選手を集めていた。
  - 第一次世界大戦の頃に二度のリーグ優勝を果たして以来、長い間低迷していたが、1994-95シーズンに当時イングランド代表だったFWのアラン・シアラーらを擁して初のプレミアリーグ優勝（81年ぶりのトップリーグ制覇）を達成。その後1998-99シーズンに降格するものの、2シーズンでプレミアリーグに復帰し、中堅クラブとして一定の存在感を保っていた。
  - 2008-09シーズンからポール・インスが監督に就任。イングランドの黒人がプレミアリーグのチームを率いた初の事例。

- 愛称はブルー・アンド・ホワイツ (Blue and Whites)
- エンブレムには、「技術と努力」を意味するラテン語「ARTE ET LABORE」が刻まれている。

メインエントランスの雰囲気

メインスタンド下のBAR

メインスタンドVIP用会場



スタジアムで購入したバーガー

スタンドの風景

- 氷点下の気温、平日ナイターにも関わらず4,401人の入り

メインスタンドは客席付き

ゴール裏は立ち見

Woking FC

- カンファレンス・ナショナル（5部、2017年度は2位）
- ミーティングで対応してくれたのは5人、ボランティアでそれぞれ担当を持っている

【組織】
- 株主79人の株式会社である
- 資本金は100万ポンド、基本的に1ポンドだが、プレミアムがついて9ポンドになっている
- Card trustというクラブによる持株組織あり。年会費支払型。

【人】
- スタッフ12人
- 24名のプロ選手、全員1年契約
- 選手の確保が難しい：去年1人3部に昇格、1人スコットランドリーグへ

【物】

- スタジアムキャパシティ　6000人(3000席)
- メインスタンドは1927年に作った
- FAカップ3回優勝、50,000ポンドの賞金。そのお金を使って1996年にゴール裏スタンドを作った
- 1887年創設、1889年リーグ参加、初めの2年間は鉄道会社が始めたので、鉄道会社名で活動していた
- 前のチェアマンが土地、スタジアム所有者（1ポンドのレンタル料を払っている）
- メンテナンスコストは150,000ポンド以上かかっている

【金】

- 予算は130万ポンド
  - 25%がチケット収入（入場料収入は10%、年間シート購入者は1800人）
  - スポンサード15～20%
  - イベント貸し
  - 200人の小学生が毎日給食を食べに来る
- 大きなクラブがナショナルリーグへ寄付（100万ポンド）する仕組みがある

【事業】

- 行政との関わり（16万人都市）
  - 市からのサポートはないが、市との情報交換はあり
- ユースチームは4カテゴリー（U23／19／18／ユース（3つに入れない選手））
- コーチ派遣事業、学校でのサッカー指導事業あり
- ウェブリーでの決勝に進んだ時は10000人以上の観客が入った（150台のバスチャーター）

メインスタンド

メインスタンド最上段より

- 木造のスタジアム
- 屋根は低く若干圧迫感があり、前方に柱もある。しかし、この日のように悪天候の時に屋根があるのは本当にありがたい

メインスタンド下にある諸室案内と壁に掲示してあるクラブヒストリー

メインスタンド下応接室

ゴール裏ホーム側スタンド

スタンド下の軽飲食販売所と展示物

ラウンジ入り口

The Geoff Chapple Lounge
in partnership with
LAITHWAITE FINANCIAL SERVICES LTD
Independent Financial Advisers
LFS
WOKING
16 FOOTBALL CLUB 89
FIDE ET DILIGENTIA

ラウンジ内部とキッチン

このラウンジにて近隣の小学生に食事を提供している。

キッチンはラウンジと軽飲食販売所の両方に対応できる造りになっている。

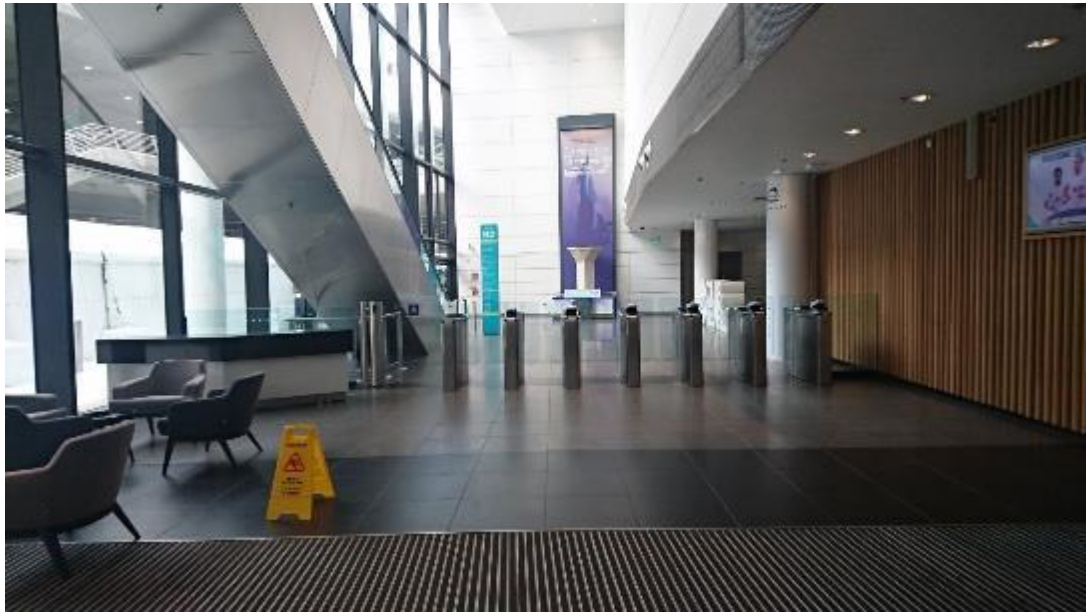
ゴール裏アウェー側スタンドの風景

アウェースタンドは立ち席
だが屋根がきちんと整備
されている

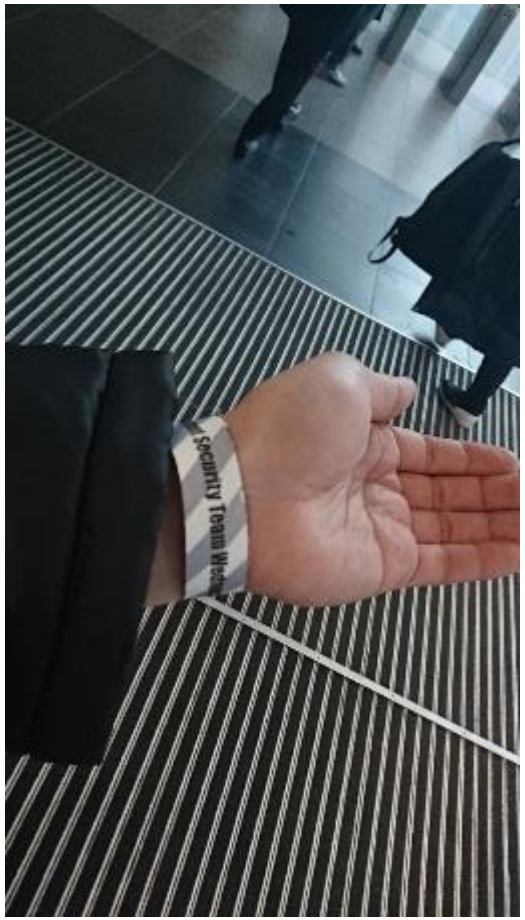
アウェースタンド側の飲食販売
はプレハブ小屋にて対応

The FA

FAのフロントロビー



入場する際は荷物と人物チェック



Agenda – Overview
10:30 Opening Address T.Foster
10:40 Yr 3 Performance Summary T.Foster / K.Simmons
10:55 Changing Marketplaces B.Warburton
11:15 Changing Landscape – The Insights
11:40 The Future County FA
12:40 Lunch
13:15 The Future County FA Feedback Session T.Foster / D.Goodacre
13:45 CFA Strategy Planning/CFA KPIs C.Pollard / Muckle
14:40 GDPR
15:00 Business Support update M.Ives
15:30 Closing Address T.Foster / K.Simmons
16:00 Futsal @ National Football Centre

【FAの組織】

- 6地域に分け、その中は50のcounti FAに分かれている（1つの地域FAにつき、6～8counti FA）
- FAは株式会社として存在
- FAはsports fundingからの寄付を受けている
- ユース連盟はない、全国大会は無い

【FA－ローカルFAの関係】

- ローカルFA は1998年に株式で統一し、KPIにて管理
- 3年分の予定を作り、発信。
- KPIの状況把握については、6週間以内にローカルFAがそれに対して反応してくるようになっている
- トップダウンを嫌い、地域によっては昔ながらのやり方を守っている所ももちろんある。
- FAとしては、地域を回って地域ごとのやり方を吸い上げるようにしている。先日もセントジェームズパークにて50FAのCEO（会長）に集まってもらった

【FAの事業予算】

- 15million 、うち1millionはスポーツファンディングからの寄付

【その他】

- 「グラスルーツ」という言葉の捉え方が日本と異なる
- 子どもか、リーグカテゴリーで見るのか
- 大人であっても1～5部はプロ、6～8部はNon League、それ以下をグラスルーツとしている

６地域の分かれ方と担当者

National Game Strategy 2018-21 Performance Monitoring

- DANIEL GOODACRE
- Head of Business Planning & Administration

- 22nd February 2018

National Game Strategy, 2018-21 – Proposed KPIs (1 of 3)

PARTICIPATION TYPE KPIS

1. **Male affiliated & regular recreational players**
   - *Futsal embedded, disability excluded*
   - *Regular recreational covers Just Play*
   - ***Target = "Sustain the number of male footballers in the game"***
2. **Female affiliated & regular recreational players**
   - *Futsal embedded, disability excluded*
   - *Regular recreational covers Just Play, Wildcats and PL Girls Programme*
   - ***Target = "Support doubling female football with 75% growth"***
3. **Disability affiliated & regular recreational players**
   - *Futsal embedded, disability excluded*
   - *Regular recreational covers disability centers(1)*
   - ***Target = "Grow disability football by a further 30%"***

PARTICIPATION INCLUSION KPIS

1. **Total % BAME players**
   - *Aligns with FA inclusion focus*
   - *Female and disability targets covered within pathways*
2. **Total % LSEG(2) players**
   - *Aligns with Sport England inclusion focus and associated funding*
3. **% affiliated player registration coverage**
   - *Aligns with a digital focus for participant engagement*
   - *Provides a key enabler for monitoring other participation KPIs*

Notes: (1) May include Just Play recreational disability, depending out outcome of Just Play review; (2) Lower Socio Economic Group

National Game Strategy, 2018-21 – Proposed KPIs (2 of 3)

REFEREEING KPIS

1. **# referees or referee coverage**
   - *Coverage ideal metric to use, but currently not viable to automate / keep consistent*
   - *# referees is the alternative measure available*
   - *Proposed to set target bottom-up from CFAs*
   - *Critical indicators of development and retention monitored against this*
2. **BAME referees**
   - *Aligns to D&I reporting requirements*
   - *# and % to provide specific target*
3. **Female referees**
   - *Aligns to D&I reporting requirements*
   - *# and % to provide specific target*
4. **Disabled referees**
   - *Aligns to D&I reporting requirements*
   - *# and % to ensure to provide specific target*

COACHING & QUALITY KPIS

1. **1st tier charter standard teams**
   - *Split by adult and youth*
2. **2nd tier charter standard teams**
   - *Split by adult and youth*
3. **3rd tier charter standard teams**
   - *Split by adult and youth*
4. **BAME coaches**
   - *Aligns to D&I reporting requirements*
   - *# and % to provide specific target(1)*
5. **Female coaches**
   - *Aligns to D&I reporting requirements*
   - *# and % to provide specific target(1)*
6. **Disabled coaches**
   - *Aligns to D&I reporting requirements*
   - *# and % to provide specific target (1)*

Notes: (1) Source data under review, with likelihood of coaching from LCC to WGS. Year 1 targets likely to just focus on EUFA B qualifications

National Game Strategy, 2018-21 – Proposed KPIs (3 of 3)

FACILITIES KPIS

1. **# Full-sized AGPs**
   - *Potential national KPI only, without contracted targets set at a CFA level*
   - *Captured via the Grassroots Pitch Register*
2. **# Grass pitches improved**
   - *Potential national KPI only, without contracted targets set at a CFA level*
   - *Captured via RPA data*

PENDING KPIS

1. **Volunteer Workforce Measure**
   - *Year 2 implementation to align with development of new Volunteer Workforce Strategy*
2. **Customer Satisfaction Measure**
   - *Year 2 implementation to align with development of new CFA operating standards*
3. **Respect Measure**
   - *Year 2 implementation to align with development of new Respect intervention*

National Game Strategy, 2018-21 – Discussion Topics

1. Are the headline outcomes the right ones to drive the stated strategic outcomes of the National Game Strategy?
    - Consider whether outcomes align to the player pathways, increasing capacity and improving capability
    - Should we use # referees or referee coverage as an officiating KPI?
    - What are the best one or two KPIs for facilities?
2. Are the participation pathway national targets stretching but realistic?
    - If not, what alternative would you propose and why?
    - Predominately aligned with current growth trends and objectives
3. How much additional reporting flexibility would County FA's like in terms of additional indicators and/or a more open, balanced-scorecard format?

KPI管理の実例

CFA

County FA Performance Dashboard

Team Affiliation (Yr 3 Actuals)

Mini Soccer	1,200	1,071
Total Teams	4438	4484
Adult Male	1,234	1,360
Adult Female	87	84
Male Disability	135	116
Youth Male	1,623	1,794
Youth Female	150	129
Female Disability	9	14

Additional KPIs (Year 2 Actuals)

YAM3	30	32
3G Pitches	8	12
PiP	41	75
Referee Coverage	95	90%

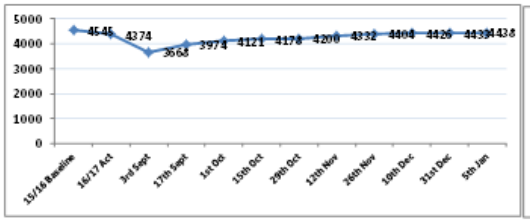
Please select CFA.
Left Box is Current Actual
Right Box is 3 Year Target

Inclusion (Year 3 Actuals)

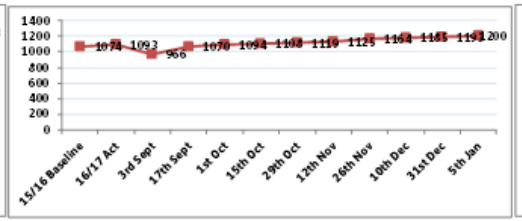
Coach BAME	14.9%	13.7%
Coach Female	5.1%	6.9%
Coach Disability	2.3%	2.0%
Referee BAME	8.3%	10.0%
Referee Female	3.8%	5.0%
Referee Disability	1.0%	2.0%

Charter Standard

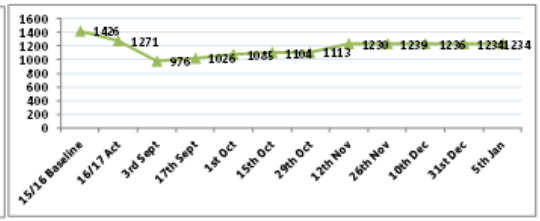
% Youth Teams	60%	58%
% Adult Teams	13%	12%



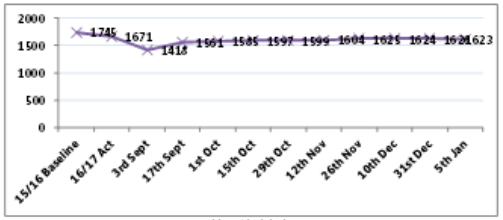
Total Teams



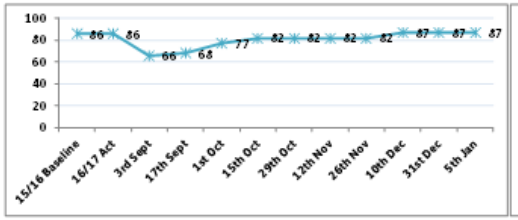
Mini Soccer



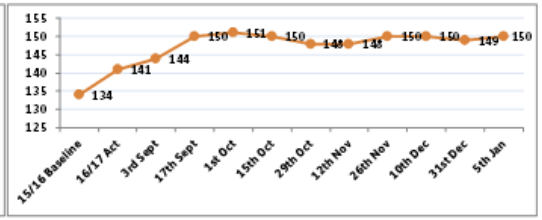
Adult Male



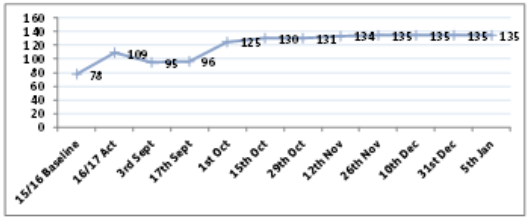
Youth Male



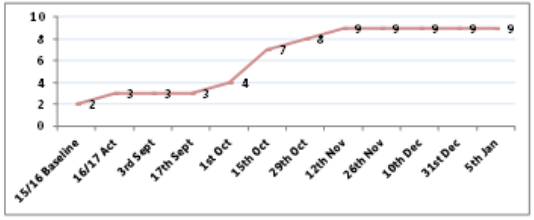
Adult Female



Youth Female



Male Disability



Female Disability

Objectives
Planning

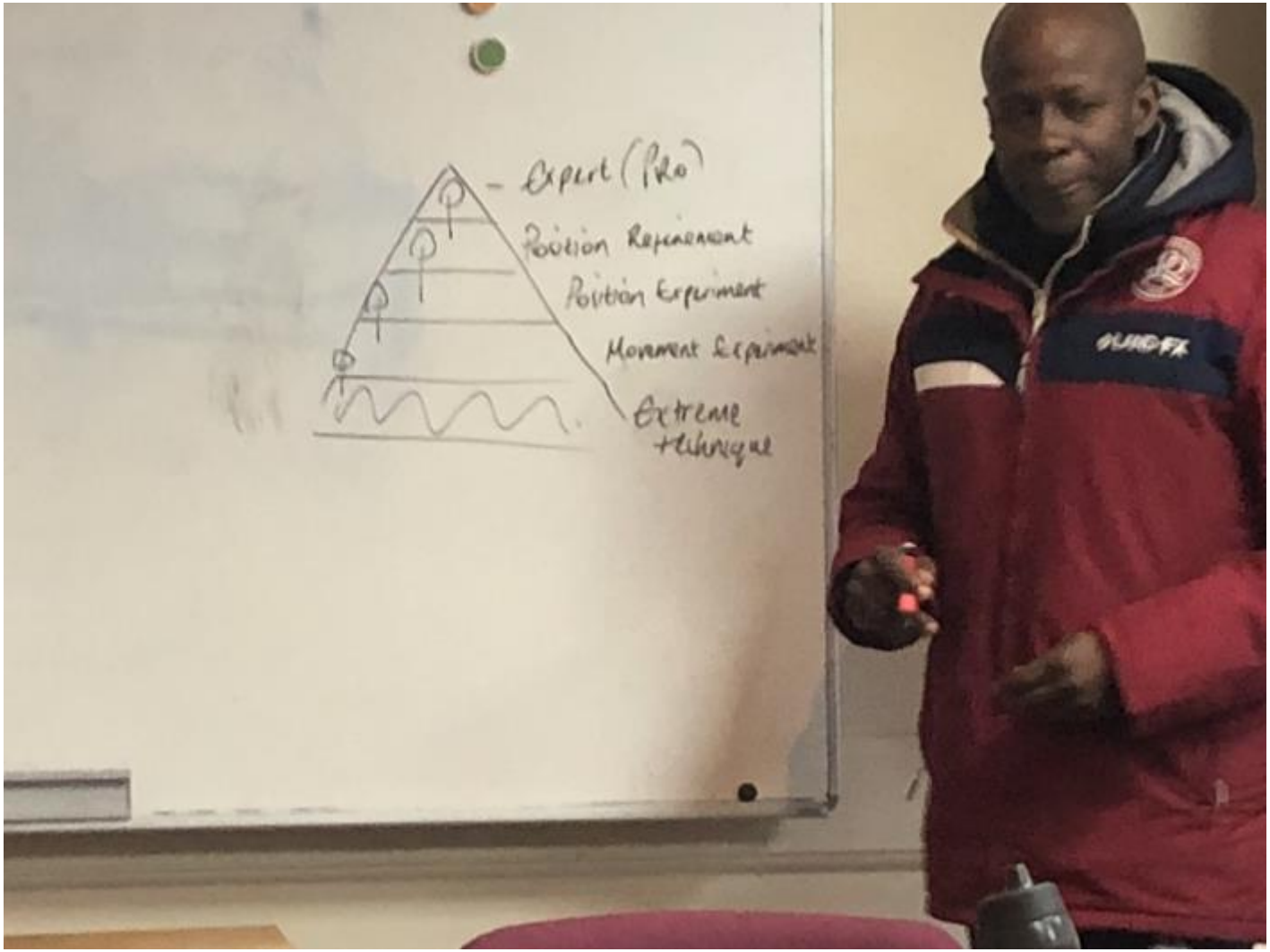
【FAとしてのマーケティングの進め方】

- 2016～2017の実績を一つの目安として、2020年までのターゲットを考え、FAのビジネスプランを決定、推進している
- 現在の目的は2022年、2023年のワールドカップで勝つこと
- 行うべきアクション515個に対して優先順位を決めて取り組むようにしている
- アクションに対してFAとしての決定事項項目として挙げているのは、人、目的、予算。バランスよく配分していく必要がある。
- 選手育成についても、単純に選手の育成だけでなく、メディア露出や、どこにお金をつぎ込むか、ビジネスとして、どうするかについて、考慮している。
- たとえば、力を入れている項目として、選手登録管理のIT化を進めている
- メディアについては、難しい問題がある。昔はBBCで全て見られたが、マードックによってスカイTV（ペイTV)が整備され、サッカーがビジネスになった。この件についてはFAは権限を持っていない。

【収支について】

- 3600万ポンド以上が残る収支予算を立てている（最悪でも1800万ポンドが残る計算）
- 収入
  - ４０％がブロードキャスティング
  - スポンサーシップ６～７割（NIKEが一番大きい）
  - スタジアム収入（クラブウェンブリーとして営業している収入、ウェンブリースタジアムでのイベント・イングランド代表の試合、FAカップファイナル、ELカップのファイナルの収入も大きい、回数は多くないがコンサートなどのイベントも開催）
  - イングランド代表が勝てばそこからの収入も見込める
  - セントジェームズパークの収入（（13のピッチがあるトレーニング施設、ヒルトンホテルを誘致）
- 支出
  - 建物のコストが大きい
  - 雇用している900人の人件費
  - イングランド代表の遠征費、運営費、マーケティング費、その他
  - その他として123ミリオンポンドのお金の使途については、たとえば、ピッチへの投資がある。
  - 今まで芝生があれば良いという考えから人工芝ピッチの整備へとお金の使い道が変わってきている

QPR（Queens Park Rangers Football Club）



ET ROAD FIT!

QPR（Queens Park Rangers Football Club）

【概略】

- Football League Championship所属（2部）
- Imperial College Sports Ground（トップAがやるピッチが2面、アカデミーピッチが6面）
  - 参考：プレミアリーグで一番多いのは３１面のチェルシー
- 郊外にあるグラウンドには子どもは親が送迎、U15はバス送迎、基本的に通いで寮は無い
- トレーニングを見学した今日の選手はU23（全員プロ契約）で23人、うち1人はプロに呼ばれたこともあるものが含まれていた（けがしていたので26歳ではあるが）、一番若い選手は18歳

【トレーニングについて】

- 考え方はU8歳から一番上まで同じポリシーでU14までは強制はしない（子どもをしかることはない）
- 年齢で分けているけれども、実際は能力で見極めている
- 8-10はインサイドフックやアウトサイドフックなどのような基本的な技術
- 10-12の時にどうして、どこに動くべきかについての考えを導入
- 15-16になってからポジションを重視する指導をする
- 18-23はやらなければならないことを全て学ぶ時期である
- U15までの目的は勝つことではない、16から勝つことを教えていく
- U16からプロとして目指していくべきか促していく
- U23のトレーニングでも下の学年でやることから順にやっている
  - 例:ウォーミングアップのボールコントロールは下の学年も行っているもの。25回×25種類＝275で全ての要素を含んでいる。
- ユース年代での全国大会はない（地域ごとのリーグ戦が主）

【選手について】

- 9～14歳は各年代最高30名まで、14歳以降は20名に絞る（全部で約200人在籍）
- 契約は学校の関係で14～16歳は2年、それ以外は1年、他のクラブから選手が入ってくることはあるが落とさなければいけない選手はほとんどいない
- 9歳の時にセレクションを実施して選ぶ
- 追加選手はセレクションではなくスカウトで連れてくる
- 遠方からの選手はめったにいない
- やらなければならないことはやらせるが、それ以外の自由度は高く選手自身に選択させるようにしている
- U23は6人の選手を外に送り出している（ローンで）
- 18歳で本人の意思を確認し、プロ契約を始めている

【プレアカデミー】

- 地元クラブや学校組織にコーチを派遣するプレアカデミーがある
- 年間費用を払ってコーチに来てもらう、看板を掲げられる

【コーチ構成】

- U23,U18については専任コーチが2人、GK1人、フィジカル2人、アナリスト1人、
- U15はコーチ1人、フィジカルコーチ１人、GK１人
- U12～14は兼任コーチで4人体制

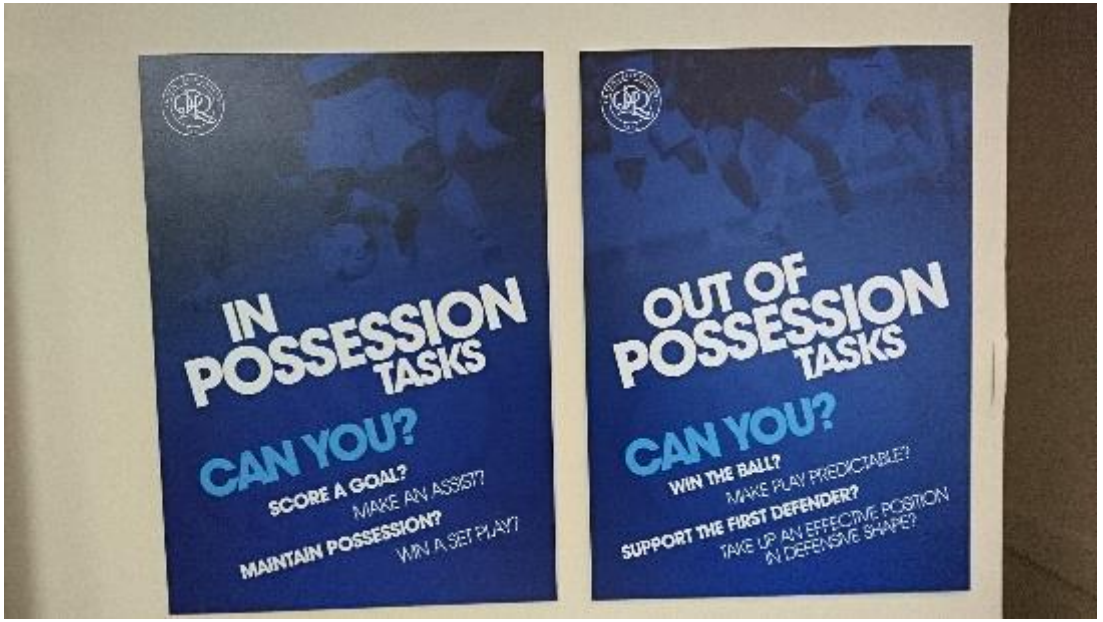
【コーチングポリシー】

- 「FUN」 楽しいのがベーシック、チャレンジが生まれる

THE QPR ACADEMY
IN PARTNERSHIP WITH SPORT IMPERIAL
sport imperial
HESTON

建物内の掲示物

選手向けの問いかけ



カリキュラムカレンダー

施設

クラブハウス入り口

クラブハウス内の様子

（大雪で分かりにくいが）
グラウンドの様子

日本スポーツ振興センターロンドンオフィス

【業務】

- イギリスイングランドを中心に調べている
- イングランドにはUKスポーツ（トップスポーツ）、スポーツイングランド（グラスルーツ）という組織があり、UKスポーツとMOU関係を結んでいる。スポーツイングランドとも情報交換・協働事業を行っている。
- サッカーくじのような国営くじもこの二つが運営、それぞれから助成がなされている

【イングランドのスポーツ振興状況】

- 日本のスポーツ基本法のような法律有り（Sporting future）
- グラスルーツに近い活動が中心
  - 現在、特に力を入れているのは、スポーツ弱者（子ども・女性・障がい者、社会的マイノリティなど）向けのスポーツ政策
  - 例）This girls canというキャンペーン（一般の女性の方でもスポーツしていこうよ、というキャンペーン）
  - スポーツ実施率の改善を目標にした活動も含まれている
- 助成金
  - Sports governance code（情報公開、コンプライアンスなど）とChild protection（児童保護）を満たしていない団体は助成金がもらえない
  - 1000ポンド～
  - サッカークラブは特殊な扱い（通常、スポーツイングランドから組織に直接助成されるが、サッカーメインのクラブはFAからfootball foundation を通して助成されている）
  - スポーツイングランドは施設の助成もしているが緊急事態対応が基本
  - サッカー財団の方はさらに手厚い
  - 2020年以降の助成金はどうなりそうか？
    - ロンドン後、スケルトンなど集中投資してメダル獲得を目指しているなど集中と選択を中心に行っている
  - UKスポーツがタレント発掘して育て上げている
- イングランドの体育授業は最近はあるが基本的にはない

【まちクラブが参加するリーグ】

- SAMURAI　ACADEMYが参加しているリーグは、カウンティFAと呼ばれる単位でのリーグ
  - 例）Middlesex FAでは、Helloyouthleagueを開催している（500チーム、10000人以上が参加、国内最大級）（1クラブから複数チームが参加。SAMURAI　ACADEMYは8チーム参加）
  - このリーグは任意団体、プライベートリーグの位置づけであり、ボランティアで運営されている
  - リーグ独自の登録システムを持ち、トップチームへの参加には登録必須（パスポートなどを見せる）、罰金システム有り（結果報告の遅れや、イエロー、レッドカードなどでも罰金支払い）
  - 今までは土曜日までに登録すれば日曜日に出られたが、オンライン化が進もうとしている
  - 県代表などになると登録は必須だと思われるが
  - U7はリーグ結果を公表しないことで甲乙をつけないようにしている、しかし、およその力量で分けているがA~Fぐらいに分かれている（7段階まで）
  - リーグの切れ目でリーグの入替を実施するが、リーグが入れ替えることも、自己申請でお願いすることもできる。2階級飛び級などもありえる。
  - FAが管轄するトーナメント（FAユースカップ、FAカップ）もある
  - 大人は上から23リーグぐらいまである（パブリーグなどを含んで）

【選手獲得】

- TFAというグループ100チーム入っているはチェルシーなどと提携し、送り込んでいる
- トップクラブは200人くらいを抱え、16人に絞る
- チェルシーは200人ぐらいのスカウト網を張り巡らしている
- 12~15まで育てた場合、FIFAの規定通りに育成金が入ってくる

【まちクラブの財政】

- 受益者負担あり（他のクラブ200ポンド/年実費、SAMURAIは400ポンド/年実費）
- 夏休みなどに大会を企画して大会参加費で運営しているクラブもある
  - 例）20ポンドぐらいの参加費、午前･午後2日間ぐらいやったら200チームぐらい来る
  - 審判は学生ボランティアなどをお願いしていることが多い
- 助成金などの活用（スポーツイングランド、ロンドンマラソン、フットボールファンデーション）
- 助成金を獲得することを仕事にしている人もいる

【クラブの施設】

- グラウンドはチームがチャリティ団体として持っていることが多い
- 新しいクラブは自治体が持っているグラウンドを借りている（例：自治体から25年のリースで区に家賃を払ってビジネスをしている）
- ライセンスを与えられているビジネスはOK,それ以外も家賃交渉でOK
- 家賃はものすごく安いが、公園が腐るほどあり、勝手にサッカーをやっても良い
- 行政との交渉は非常にグレーな話が多い
  - なかなか進まない上、業者を紹介される。さらに、業者で調書を作るだけで3400ポンド＋VATなど）
- 固定資産税はない

【選手育成について】

- イングランドはイングランドらしさを追求し始めている
- イングランドは自分自身で決める・考えることが多く求められる

【まちクラブの収入源等】

- 駐車場、グッズ、バーの運営などを収入源としているクラブが多い
- 7000ポンドまでは税金がかからない、チャリティー団体であればかからない、Ltd、foundation
- チャリティーの運営は難しい
- チャータースタンダード（FAから認められたクラブ）になるとメリットもある

SAMURAI　ACADEMY　宮原氏

【FAの改革】

- 全てのカウンティに指導者を派遣
- 200人メンターとしてパートタイムで
- 指導者へのアプローチの仕方を変えた（今まではチューター：個人指導係、つまり仕事をマンツーマンで教えてくれる人、と呼んでいた）
- （FAの指導要領通りできることが良いのではなく、いつもの指導に対して少しこう変えたら？という助言に。）
- 時代と共に変わっているものももちろんある（個人を大事にするなど）のでそれは伝達
- 上から情報を落とすための仕組みではない
- ロンドンFAには17人、各地のまちクラブを回っている
- ガバナンスコードについての指導もしている
- 代表クラスの選手の強化については、1人に付き3･4人スタッフが付くことで実現

【FA―プレミアリーグの関係について】

- プレミア上がりの人をFAに呼んで関係改善を図ろうとしている
- 選抜チームについては、FA選抜とプレミア選抜を選手が選ぶ場面があるが、FA側が対戦できる相手を強敵にする努力を行い、FAの選抜チームで出場することを選んでもらおうとしている

【育成について】

- 育成金がきちんと出ることで早い年代で上のクラブにスムーズに上げていく流れができてくる（上のクラブが下にメリットを提供したり、降りていくことがつながりの強化につながってくる）
- プレミアのクラブはポジションごとにどんな選手か、どんなものが求められるか、壁に書いてある
- 個人のレベルアップに特化し、ビデオで見せたりコーチングしてフィードバックして、同じ景色の中でパターンの中から正確に選ぶ訓練をしている

宮原氏を通じてFAへ送った質問の回答

1、プレミアリーグからのアカデミーに対する配当金です。ファンディングを貰っており、カテゴリーによって別れているようです。

1,I just was wondering if youth academy receive any Dividend from League or from FA? IF so how much would it be?Would it be different for different categories?

- Yes all Category's receive funding from the PL (premier league)
  - Cat £1m
  - Cat 2 £750k
  - Cat 3 £470k

２、プレミアのクラブ（マンユナイテッド）などがカンファレンスのリーグにサポートフィーを払っているか？

- イギリスではセカンドチームを持てないので、オフィシャルには払っていないようですが、外国のクラブでは確かに起きているはず。という事です。

2,They heard that Manchester United or Manchester city or any other Premier league club pays support fee for Conference national League?

- Not officially as you can’t have interests in a second team in the UK, but certainly will happed with foreign clubs

３、イングランドのアカデミーでフットパスのベルギーのシステムを使っているか？

- イングランドでは約5年の２回の監査が終わったところです。フットパスに対する意見は賛否両論だそうです。

3,In England do they use Foot pass the Belgium system for their academy? Do you have any opinion towards that system?

J-League has been using those system for two years now.

- Yes Foot-pass have now done our last 2 audits (5 years approx)
- Feeling has been mixed in the England towards footpass If you could reply me at your convenient time, that would be highly appreciated.

Barnet FC

- **フットボールリーグ2（4部）**
- 1919年創設　ザ・ハイヴスタジアム（5100収容）
- 1890年創設バーネット・アヴェニューと1901年創設アルストンワークスが合併。長らくノンリーグに在籍、2000年代にプロリーグに昇格、2013年にノンリーグに降格するも2年でプロリーグに復帰。過去にエドガー・ダビッツが監督兼選手でプレー。
- 試合会場と練習会場が同じ場所にある

【参考】通常のクラブ

- スタジアムは街中、練習場は郊外
- 郊外の距離はM25の外、国鉄で移動してバス
- U18以下、基本的に1時間程度かけて通う
- テストをやってダメな選手は落としていく、違うチームのトライアルを受けていく

【収入関係】

- あらゆる方法で収入を考えている
- 3割がチケット収入
- 4つのバー収入、駐車場収入も馬鹿にならない
- 胸のスポンサー東芝はメディカル面でのスポンサー。1%程度（4万ポンドの支援（600万円））（MRIなどの機器がスタジアム内に入っているのは全英でもここだけ）
- 1～4部までは放映権収入があり、おそらく10%くらいを占める
- 総売り上げは6億円

- 年間チケットホルダーは1000人程度
- クラブメンバーシステムによって駐車場やファシリティの利用権を与えている

【組織】

- 株式会社であり97%チェアマン（30の企業を持っている52歳、プロクラブの中では一番若い）、2人のボードメンバーをチェアマンが選び、有給で雇用されている（オーナーはキプロス島出身）
- 残りの3%はサポーターによるファンデーションが所有している（移転する前からあるサポータートラストのようなもの）
- 利益が出ても配当金はない
- プレミアリーグからお金が来る仕組みがあるどころか、寄付を受けているのではなく、寄付している
- プレミア、FAもこのFAに寄付

【施設】

- 人工芝3面、天然芝フルで8面、スタジアム、チームスタッフ用の寮は2棟ある
- 土地もオーナー所有
- 新しくホテルを建てるプランが進んでいる（3・4年後）
- 前のスタジアムは坂のスタジアムだった（2000人平均、席は500程度しかなかった）
- 移転してからお客さんが増えたため、スタジアム増築（現在6000⇒8000人に拡張）を考えている
  - ルートン町とのというローカルダービーで4000~5,000人、FAカップでサウザンプトンとの対戦で6000人入ったのでもっと入ると見込んでいる
- 同じスタジアム内に医療機関が入っているのは特殊
- 海外も含めナショナルチームのトレーニング場所にもなっている

【選手獲得】

- 下のリーグのクラブとの特別なパイプがあるわけではない、プレミアのクラブの方が相当すごいパイプを持っている
- クラブとのパイプ作りよりもスカウト網の張り巡らしに取り組んでいる
- 15～20名の契約ベースのスカウトがいる（ビッククラブに比べると少ない方）
- アカデミーに来ているのは近辺の子ども
- スカウト網のほか、6週間トライアルという仕組みがある
- 車で1時間以内圏内が目安（基本的に通い）
- 選手の取り合いになっている状態

【アカデミーの運営について】

- 8～２３歳まで、16歳で選手になるのかどうか考え始めさせ、クラブとしては17歳で必ず決めてもらう
- 11歳までは子どもを送り迎えする
- 選手になるとクラブ会員証がもらえ、駐車場は無料、食事、ファシリティ等は無償、会費は無い（交通費はクラブもちではない）
- ユース年代のコーチ数は、ヘッドコーチやフィジカルコーチ等必要な役職に1名ずつはつけており、80%が専属契約、残りはパートタイマー（週に4回ぐらい来ている）合計70名
- 各カテゴリー16～18名ずつぐらいが所属
- 地域の学校や組織などに指導者を送り込む仕組み・組織がある
- 総合型クラブとしての活動を重視してはいない（スポーツ広場を様々な種目に貸出したりはしているが）

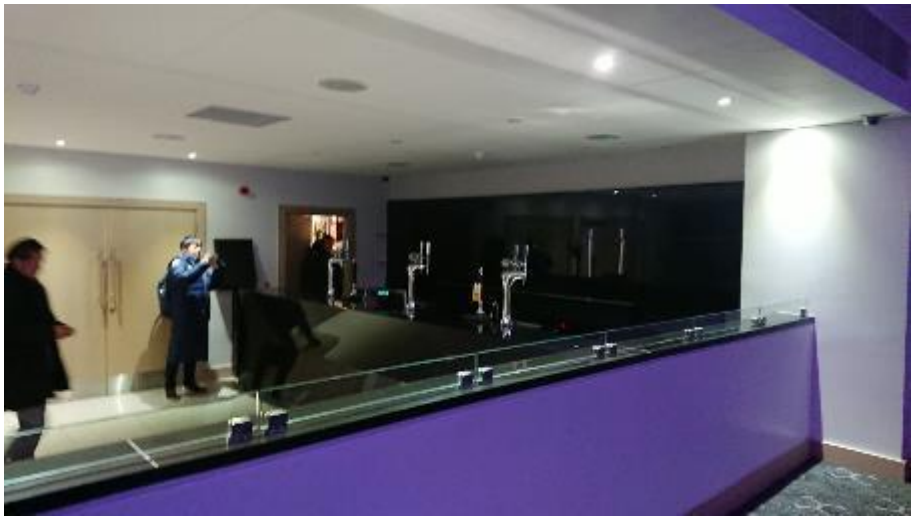
【参加しているリーグについて】

- プレミアリーグからキャパシティ、コーチ数などによる審査が入り、カテゴリーを付けられる。トップレベルのカテゴリー付けをされているので希望すればいつでも試合ができる。
- このクラブ内に試合を組む役がいて、いつでも実施できる。
- 15歳まではこの仕組み
- 16歳以上はエリアが広がり、イギリス国内でのリーグがあるが年によって異なったりする
- 23になるとヨーロッパ内でのリーグに参加する
- FAはルールや規律を決める役目であり、EFL（2~5部）がユースのリーグをコントロールしている
- 地域リーグに所属するとリーグ20試合（H&A、10～12チームぐらいのリーグ）程度、FAユースカップも地域内で開催され、その試合にも参加している

Barnet F.C.敷地入り口

練習用ピッチとスタジアム

おしゃれできれいなイベントホール（結婚式などで使用



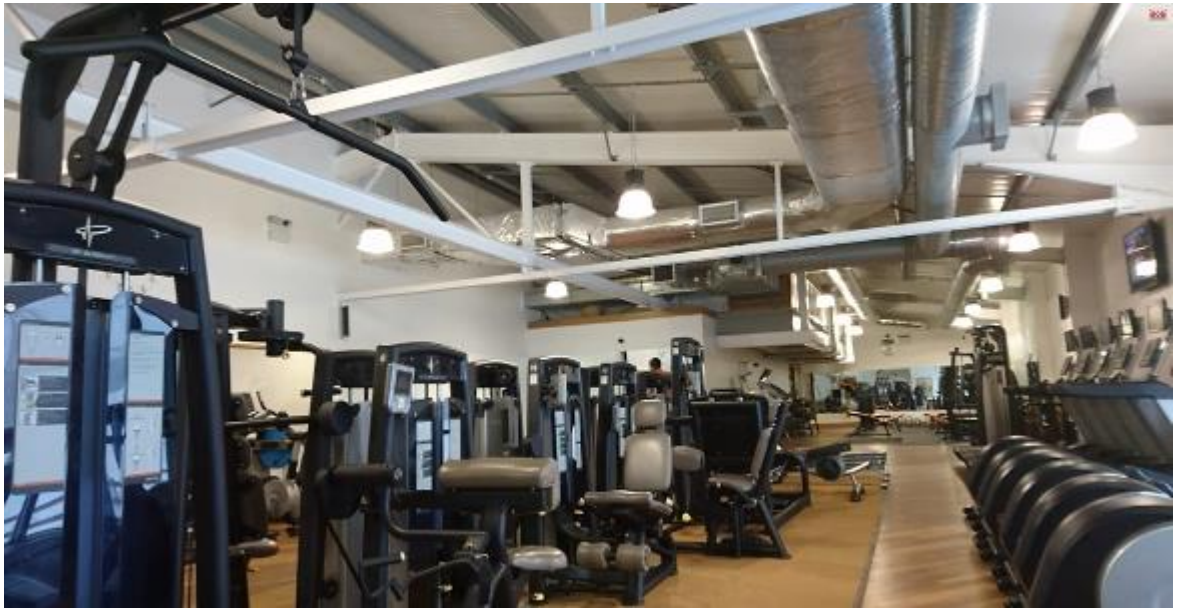
ビールサーバーなど飲食関係が充実

スタジオとしても利用できるスタジアムが一望できるVIPルーム

施設全体図面

大雪に見舞われたスタジアム

スタジアム1階にあるカフェ



フィットネススタジオも充実

スタジアム内に設置
されている医療機器
のレイアウト

まもなく稼動が始まる
高度医療機器